

未来の笠原の減災のためにできること

- ・線状降水帯が発生する恐れがあるときには、早めに小学校に避難し、急な増水や氾濫に備えること。
- ・コミュニティーセンターから笠原小に上る坂は、土砂災害警戒区域になっているが、減災のために樹木の伐採や護岸を行う。万が一崩れたときに学校が避難所として機能するために、東門から自動車の出入りが行えるようになるのが望ましい。
- ・笠原小学校が、避難所となる場合、地元住民が自家用車で移動して来る。運動場を駐車場として使用できるように、運動場におけるスロープをゆるやかにしておくこと。
- ・三沢川の浚渫を定期的に行うこと。